

GR III / GR IIIxの
各部名称を知ろう

Keyword ボタン、ダイヤル

GR III / GR IIIx を購入したら、**各部の名称**を覚えよう。正確に使いこなすために必要な知識だ。それぞれのボタンやダイヤルに、どのような機能が割り当てられているかも頭に入れておきたい。とくに**上面と背面のボタン**は使用頻度が高いので、しっかり覚えておこう。

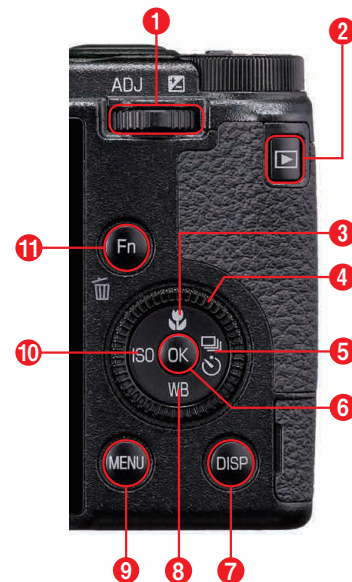
① 上面のボタン・ダイヤル



- | |
|--------------------|
| ① 前電子ダイヤル |
| ② ロックボタン |
| ③ モードダイヤル |
| ④ シャッターボタン |
| ⑤ ON / OFF (電源ボタン) |

② 背面、側面のボタン・ダイヤル

- | |
|---------------------------|
| ① ADJ / [露出補正] レバー |
| ② [再生] ボタン |
| ③ [マクロ] / [▲] ボタン |
| ④ コントロールダイヤル |
| ⑤ [ドライブ] / [▶] ボタン |
| ⑥ OK ボタン |
| ⑦ DISP ボタン |
| ⑧ WB (ホワイトバランス) / [▼] ボタン |
| ⑨ MENU ボタン |
| ⑩ ISO / [◀] ボタン |
| ⑪ Fn / [消去] ボタン |



- | |
|-------------------|
| ⑫ [動画] / [無線] ボタン |
|-------------------|

GR III/GR IIIxの
準備をしよう

Keyword バッテリー、メモリーカード

ここでは**バッテリー**や**メモリーカードの装填**、基本的な初期設定など、**カメラを購入した直後にすべきこと**を紹介する。

① バッテリーをセットして充電する

GR III/GR IIIxは充電器が別売りになっている。その代わりにカメラ本体に充電機能があり、付属のUSBケーブルで充電ができる仕組みだ。



底部のバッテリーカバーの解除レバーをOPEN側に押し、カバーを開ける。「RICOH」の文字が書かれた面がカメラ前面を向くようにバッテリーを挿入する①。奥まで押し込むとカチッと音がしてロックされる。カバーを閉じ、解除レバーを操作してロックする。



電源プラグをUSB電源アダプターにカチッと音がするまで押し込み、取りつける②。USBケーブルの大きい方をUSB電源アダプターに接続し③、コンセントに電源プラグを差し込む。



グリップ側の側面にある端子カバーを開け、USB端子にUSBケーブルの小さい方を差し込む④。充電中はステータスランプが点灯し⑤、充電完了すると消灯する。充電時間は、バッテリーが空の場合、2.5時間かかる。

② メモリーカードの装填とフォーマット

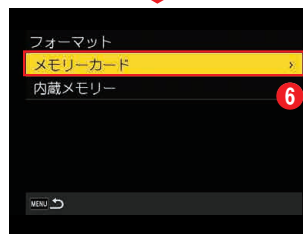
写真を記録するにはSD/SDHC/SDXCカードを使う。GR III/GR IIIxには約2GBの内蔵メモリーがあるが、容量がすくないため、メモリーカードに記録しよう。メモリーカードに記録するには、中身を**GR III/GR IIIxに適した形式に初期化する必要がある**。まずはメモリーカードの装填とフォーマットをしてみよう。



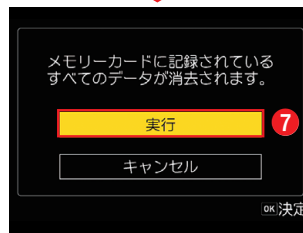
バッテリーカバーの解除レバーをOPEN側に押し、カバーを開ける。メモリーカードのラベル面がカメラ前面を向くようにして、カチッと音がするまで奥まで押し込む①。カバーを閉じ、解除レバーを操作してロックする。



ON/OFF(電源ボタン)を押して電源をオンにする。MENUボタン②を押し、メニュー画面を表示させる。▲▼ボタンで「セットアップ」タブ③の「ファイル設定」④から「フォーマット」⑤を選び、▶ボタンを押す。



「フォーマット」から「メモリーカード」を選び⑥、▶ボタンを押す。



「実行」を選択し⑦、OKボタンを押すと、初期化が始まる。フォーマットを実行すると、メモリーカード内のデータがすべて消えてしまうので注意する。

フォーカスの基本操作を理解しよう

Keyword フォーカス、AF、MF

GR III / GR IIIx はオートフォーカス (AF) により、シャッターを半押しすると自動でピントが合う。また、**手動でピントを合わせるマニュアルフォーカス (MF)** も搭載されており、AF でピントを合わせにくい場面などで活用できる。

① GR III / GR IIIx の9種類のフォーカスモード

GR III / GR IIIx には**9種類のフォーカスモード**がある。フォーカスモードとは、ピント合わせの方法のこと。設定するには、メニューから「フォーカス」を選択するか、ADJレバーから選択する。それぞれ特徴や利点があるので、目的に合わせて使い分けよう。

オートエリア AF	5×5の測距エリアからオートで適切な位置にピントを合わせる (→ P.40)
オートエリア AF (中央)	3×3の測距エリアからオートで最適な位置にピントを合わせる (→ P.40)
セレクト AF	任意の1つの測距エリアを指定してピントを合わせる (→ P.40)
ピンポイント AF	セレクト AF よりもさらに狭い中央の1点でピントを合わせる (→ P.41)
追尾 AF	一度ピントを合わせた被写体を、シャッターボタンを半押ししている間、追尾してピントを合わせ続ける (→ P.41)
コンティニュアス AF	シャッターボタンを半押ししている間、被写体にピントを合わせ続けるため、動く被写体を利用できる (→ P.42)
MF	手動でピントを合わせる。暗い場所など AF ではピントを合わせられないときに利用できる (→ P.42)
スナップ	あらかじめ選択した距離にピントを固定する。1m/1.5m/2m/2.5m/5m/∞でピントの距離を設定可能だ (→ P.42)
∞	無限遠にピントを固定する。遠くの景色などを撮影するときに利用できる (→ P.43)

② フォーカスを設定する

フォーカスモードはメニューかADJレバーから設定できる。フォーカスモードだけ変更したいときはADJレバーから、ほかにもフォーカスに関する変更をしたいときはメニューから行うとよいだろう。

■ メニューからフォーカスモードを設定する

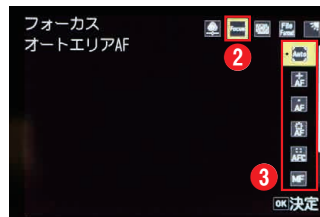


MENUボタンを押して①、「静止画設定」タブ②の「フォーカス」③を選択し、▶ボタンを押す。



選択肢が表示されるので、▲▼ボタンか、コントロールダイヤル④で任意のモードを選び、OKボタンを押して決定する。

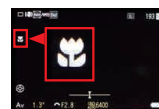
■ ADJレバーからフォーカスモードを設定する



ADJレバーを押して①と機能が表示される。▶ボタンでフォーカス②を選択し、任意のモード③を▲▼ボタンか、コントロールダイヤルで選び、OKボタンを押して決定する。

ONE POINT マクロ撮影

GR III / GR IIIxのマクロ撮影での最短撮影距離は、レンズ先端からGR IIIでは6cmまで、GR IIIxでは12cmまで。しかし、撮影画面で▲ボタンのマクロボタンを押すと、6cmまで近寄れるようになる。



クロップを使いこなそう

Keyword クロップ、画角

クロップとは、カメラ内部で写真にトリミングを施し、画角を変えたように撮影できる機能のこと。通常はGR IIIでは28mm、GR IIIxでは40mmの画角だが、クロップでGR IIIでは「35mm」「50mm」、GR IIIxでは「50mm」「71mm」に変更することができる。

1 画角の違いを理解する

GR III

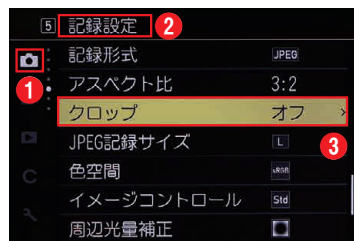


GR IIIx



クロップモードを使うと、GR IIIは焦点距離35mm/50mm相当、GR IIIxは50mm/71mm相当の画角で撮影ができる。GR IIIとGR IIIxを併用することで、広角から中望遠域までカバーすることが可能だ。歪みが少なく、適度な遠近感が味わえる広角から、見ている感覚に近い標準、ポートレート撮影に適した中望遠まで変更できる。

2 クロップを設定する



メニューの「静止画設定」タブ①から「記録設定」を選び②、その中から「クロップ」を選ぶ③。



一覧が表示されるので、GR IIIでは「35mm」「50mm」から、GR IIIxでは「50mm」「71mm」から選び④、OKボタンを押して決定する。

3 画角を変えて写真のイメージを変える



GR IIIのクロップモード50mmの設定で撮影。28mmレンズの画角で近接して撮影すると被写体の形が歪みやすいが、クロップモードで画角を変えることで、被写体を肉眼で見えるような形で写すことができる。

カメラ設定

カメラ GR III 撮影モード 絞り優先AE 絞り 4.5 シャッター速度 1/30秒
露出補正 -0.3 ISO感度 2500 WB マルチパターンオート

ONE POINT クロップ設定時のJPEG記録サイズ

クロップ設定時はJPEG記録サイズに制限ができる。GR IIIでは35mm、GR IIIxでは50mmで「L」が「M」で、GR IIIでは50mm、GR IIIxでは71mmで「L」「M」が「S」で記録される。

露出モードを設定して撮影しよう

Keyword 露出モード

GR III / GR IIIx には、被写体に合わせて撮影者が自由に露出を設定できる露出モードが用意されている。これらのモードを使えば、自分が意図した表現を反映させることができる。

3

露出を駆使して作品づくりをしよう

1 4つの露出モード



モードダイヤルにP（プログラムAE）、Av（絞り優先AE）、Tv（シャッター優先AE）、M（マニュアル露出）と表示されているのが露出モード。撮影状況に合わせて**絞り**と**シャッター速度**の**組み合わせ**を、**撮影者がコントロール**できる。一方を手動で設定し、もう一方をカメラまかせにすることも可能だ。組み合わせによって変わる写真表現のしくみを知れば、撮影の面白さが増す。

2 細かい設定ができる

4つの露出モードは**露出補正**や**ISO感度**、**ホワイトバランス**などの**詳細なカメラ設定**を、**撮影者の好み**に合わせて調整できる。これにより撮影者の表現意図をより写真に反映させることができる。



3 露出モードの機能と特徴

P：プログラム AE

絞り値とシャッター速度をカメラが自動設定する。プログラムシフト（→P.67）によって露出を一定に保ったまま、絞り値とシャッター速度の組み合わせを変更できる。



Av：絞り優先 AE

撮影者が絞り値を手動で決定し、カメラがシャッター速度を自動設定する。ボケをいかに表現をしたいときに便利だ。



Tv：シャッター優先 AE

撮影者がシャッター速度を手動で決定し、カメラが絞り値を自動設定する。被写体の動きを止める、ぶらすなど躍動感を表現したいときに便利だ。



M：マニュアル露出

撮影者が絞り値、シャッター速度、ISO感度の三要素を手動で設定する。光の状況に影響を受けることなく露出を固定したいときに便利だ。



3

露出を駆使して作品づくりをしよう

イメージコントロール を使いこなそう

Keyword イメージコントロール、詳細設定、モノクロ

イメージコントロールとは、以前のGRの画像設定とエフェクトモードが統合された機能で、作品づくりに効果的な画像設定がカメラにあらかじめプリセットされた便利なモードだ。

① イメージコントロールを設定する

各イメージコントロールは、さまざまな効果を持っている。撮影状況や意図する表現によって使い分けてみよう。

■ 設定方法

イメージコントロールはメニューの「静止画設定」タブの「画像仕上設定」にある「イメージコントロール」から設定できるが、ここでは簡単に操作できるADJレバーからの操作を説明する。



ADJレバー①を押し、設定画面を表示する。



◀▶ボタンでイメージコントロール②を選択し、▲▼ボタンで設定したいイメージ③を選択して、OKボタンを押す。

② イメージコントロールの種類を知る

イメージコントロールにはさまざまな種類がある。「スタンダード」は初期設定で、自然なイメージの標準的な設定。「ビビッド」は「スタンダード」よりも彩度、コントラスト、シャープネス、明瞭度が高く、色彩が鮮やかで強い印象に仕上がる。このようにそれぞれ特徴があるので、作例とともに表現の違いを確認しよう。

スタンダード



カメラの初期設定の画像モードで、彩度やコントラストなどバランスのよい画質で撮影できる。キーや明瞭度など新たに追加されたパラメーターで精細な画像設定が可能になった。



自然な階調で質感がきれいに撮れる。汎用的に使いやすく、どんな被写体にも向いている。

Chapter 4 GR III / GR IIIxの個性的な機能を楽しもう

section 10

お気に入りの設定を登録しよう

Keyword 操作カスタマイズ、USERモード

GR III / GR IIIx のカスタマイズ機能には、ボタンに好きな機能を登録する「操作カスタマイズ」と、自分のお気に入りの設定を保存できる「USER モード」がある。頻繁に使う機能を好きなボタンに登録して簡単に呼び出したり、設定そのものを保存して呼び出したりできる。

① 操作カスタマイズと USER モード

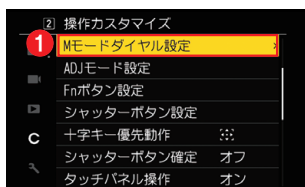
「操作カスタマイズ」は、GR III / GR IIIxの各ボタンやダイヤル、レバーの機能を自分で設定する機能のことだ。たとえば、Fnボタンにセルフタイマーを呼び出す機能を振り分ける、といった具合だ。「USERモード」とは、エフェクトやホワイトバランスなどの撮影設定を保存して、モードダイヤルを回すだけですべての設定を呼び出す機能のことだ。

② 操作カスタマイズの設定方法

メニューの「カスタマイズ設定」の中に「操作カスタマイズ」がある。各ボタンの設定は、このタブの中で設定する。

■ Mモードダイヤル設定

Mモード設定時の前電子ダイヤルとADJレバーの機能を変更することができる。



「カスタマイズ設定」タブの「操作カスタマイズ」の中から「Mモードダイヤル設定」を選択し①、▶ボタンを押す。



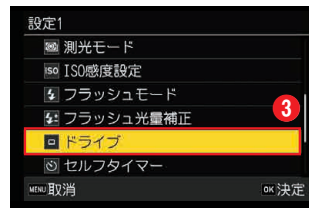
項目の中から「カスタム1」か「カスタム2」を選ぶ②。「絞り」と「シャッター速度」の機能を前電子ダイヤルと ADJ レバーのどちらに設定するかを決める③。

■ ADJモード設定

ADJレバーを押したときに呼び出せる機能を変更することができる。



「操作カスタマイズ」から「ADJモード設定」を選び①、▶ボタンを押す。5つの設定のうち、変更したいものを選択する②。



15項目の中から機能を選び③、OKボタンを押すと設定が完了する。

■ Fnボタン設定

Fnボタン、◀▶ボタン、動画/無線ボタンの機能を変更することができる。



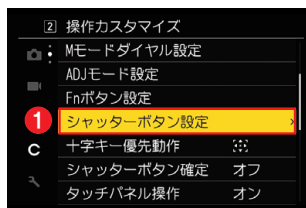
「操作カスタマイズ」から「Fnボタン設定」を選び①、▶ボタンを押す。「Fnボタン」、「ISO (◀) ボタン」、「ドライブ (▶) ボタン」、「動画 / 無線ボタン」から変更したいボタンを選択する②。



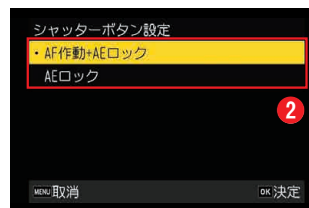
ボタンごとに割り当て可能な機能があり、それぞれに好みの機能を設定する③。初期設定ではFnボタンとシャッターボタン半押し機能は同じなので、たとえば、Fnボタンにクロップを設定すると便利だ。

■ シャッターボタン設定

シャッターボタンを半押ししたとき動作を変更することができる。



「操作カスタマイズ」から「シャッターボタン設定」を選び①、▶ボタンを押す。



項目の中から「AF 動作 + AE ロック」か「AE ロック」を選ぶ②。「AE ロック」を選ぶと、「AF 動作」はFnボタンに割り当てられる。Fn ボタンの機能を変更していると、AF が使えず「MF」でのピント合わせしかできなくなるので注意。

街のスナップを撮ろう

Keyword スナップ、ハードモノトーン、ハイコントラスト白黒

GR III / GR IIIX は最強のスナップシューターといわれていて街のスナップ撮影には最適なカメラ。コンパクトなボディは、一眼レフでは難しい自由なアングルで撮影が可能で、街中でカメラを構えても周りの人に威圧感を与えない。ポケットに収まるサイズは携帯性も抜群である。機動力だけでなく、人の眼の視野に近い画角の 28mm / 40mm レンズ、解像感が高く高画質のスペックは、クオリティに拘った撮影にも対応できる。



シャッターチャンスを見逃さず撮影する

スナップ撮影の醍醐味は、予期せず出会う瞬間を見逃さずに撮影すること。スカイツリーが見える隅田川沿いのカフェテラス。イメージコントロールをハードモノトーンに設定して日除けの parasol と寛ぐお客さんをシルエットで撮影。

カメラ設定	カメラ	GR IIIX	撮影モード	プログラムAE
	絞り	F3.5	シャッター速度	1/200 露出補正 0
	ISO感度	100	WB	マルチパターンオート

① 光を意識して撮る



アーケード街の建物の隙間から、スポットライトのようなドラマチックな陽が差した瞬間に撮影。何気ないありふれたような場所も、光の方向や質によって美しい光景に変わることがある。

カメラ GR III
撮影モード プログラムAE
絞り F4.5
シャッター速度 1/320
露出補正 -0.3 ISO感度 200
WB マルチパターンオート

② モノクロで撮る



カメラ GR IIIX
撮影モード プログラムAE
絞り F4.5
シャッター速度 1/250
露出補正 +0.7
ISO感度 100
WB マルチパターンオート

ハイコントラスト白黒は、GRで人気のある画像設定のひとつ。高いコントラストと粗い粒状感があり、印象の強い抽象化されたモノトーンの画像は、街の光景をアーティスティックに写すことができる。

カメラ内でRAW現像をしよう

Keyword RAW、JPEG、現像

GR III / GR IIIx では、RAW 形式のデータをカメラ本体で JPEG 画像に変換（現像）することができる。場所を選ばず処理できるのでとても便利だ。普段は RAW で撮影し、気に入った画像をあとでじっくり JPEG に現像する、というのもおすすめだ。

1 RAW 現像を設定する

カメラ内でのRAW現像は、パソコンで作業するよりもずっと簡単。1枚の画像を何度でも現像できるので、仕上がりを変えて何枚も現像してみるとよいだろう。



再生ボタンを押し、現像したいRAWデータを表示する①。



動画／無線ボタンを押して再生機能選択項目を表示し、その中から「RAW現像」を選ぶ②。



「JPEG記録サイズ」や「ホワイトバランス」「アスペクト比」など現像時に設定できる項目が表示される③。設定したい項目で▶ボタンを押し、設定後はOKボタンを押すとJPEGに現像される④。

2 RAW 現像の機能

RAW現像ではイメージコントロールやホワイトバランス、周辺光量補正など、撮影時と同等の調整が可能だ。

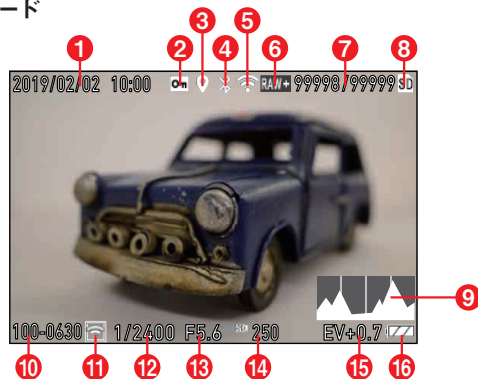
JPEG 記録サイズ	生成される JPEG 画像の記録サイズを4種類から選べる。RAW を残しておくことで、用途に合わせて記録サイズを変更することができる
アスペクト比	画像の縦横比を設定する。元データより小さくなる場合はトリミングされる。JPEG 画像のトリミング（→ P.159）を使うと位置も調整できる
色空間	再現できる色の領域。sRGB と AdobeRGB が選択できる（ONE POINT 参照）
ホワイトバランス	撮影時と同じく13種類の効果が選択できる。また、Fn ボタンを押すと細かい色調補正もできる
イメージコントロール	「スタンダード」「ビビット」「モノトーン」など、撮影時と同じく11種類の効果を選択できる
周辺光量補正	周辺光量補正のオン・オフを変更できる
増減感	±1 を 1/3 のステップで明るさの補正が可能。撮影時の露出補正とは意味合いが異なるが、仕上がりはほとんど遜色ない
高感度ノイズ低減	高感度撮影時に発生するノイズを除去する設定。「オート」と「弱」「中」「強」の3段階で低減させる。ノイズを低減させるとディティールが損なわれるため、バランスを見て使う
シャドウ補正	暗い部分を持ち上げる設定。「オート」と「弱」「中」「強」の3段階で補正処理を調整する

ONE POINT sRGB と AdobeRGB

デジカメはR（赤）・G（緑）・B（青）の3色を掛け合わせて色を記録する。再現できる色の領域（色空間）には限りがあり、多くのプリンターやモニターが採用しているsRGBと、さらに広い領域を再現するAdobeRGBがある。ただしAdobeRGBできちんとした色再現をするには、対応機器や知識が必要なため、通常はsRGBに設定しておこう。

③ 再生画面の表示内容

■ 静止画モード



① 撮影日時	⑨ ヒストグラム
② プロテクト	⑩ フォルダ／ファイル番号
③ GPS 情報	⑪ 画像転送状態
④ Bluetooth 通信	⑫ シャッター速度
⑤ 無線 LAN 通信	⑬ 絞り値
⑥ 記録形式／JPEG 記録サイズ	⑭ ISO 感度
⑦ 再生ファイル数／総ファイル数	⑮ 露出補正
⑧ 再生元	⑯ バッテリー状態

■ 動画モード



① 撮影日時	⑩ 画像転送状態
② プロテクト	⑪ フォルダ／ファイル番号
③ GPS 情報	
④ Bluetooth 通信	
⑤ 再生ファイル数／総ファイル数	
⑥ 再生元	
⑦ 操作ガイド	
⑧ 音量	
⑨ 記録時間／経過時間	

④ メニュー画面詳細

静止画設定

■ フォーカス設定

① フォーカス設定	
① フォーカス	AF
② 顔／瞳検出	ON
③ AF補助光	
④ スナップ撮影距離	2.5m
⑤ フルプレスナップ	オン
⑥ フォーカスアシスト	
⑦ コンティニユスAF動作	

② 露出設定	
⑧ MF時の自動拡大表示	オフ
露出モード切替	P
測光モード	

① フォーカス
フォーカスを設定する。オートエリア AF / オートエリア AF (中央) / セレクト AF / ピンポイント AF / 追尾 AF / コンティニユス AF / MF / スナップ / ∞ から選ぶ

② 顔／瞳検出
顔／瞳検出を設定する。オン／オートエリア AF のみ／オフから選ぶ
③ AF 補助光
AF 補助光を設定する。オン／オフから選ぶ
④ スナップ撮影距離
スナップ撮影距離を設定する。1m/1.5m/2m/2.5m/3.5m/5m/∞ から選ぶ
⑤ フルプレスナップ
フルプレスナップを設定する。オン／オフから選ぶ
⑥ フォーカスアシスト
フォーカスアシストを設定する。エッジ強調／エッジ抽出／オフから選ぶ
⑦ コンティニユス AF 動作
コンティニユス AF 動作を設定する。フォーカス優先／コマ速優先から選ぶ
⑧ MF 時の自動拡大表示
MF 時の自動拡大表示を設定する。オン／オフから選ぶ

■ 露出設定

② 露出設定	
① 露出モード切替	P
② 測光モード	
③ ISO 感度設定	102400
④ フラッシュモード	
プログラムライン	Normal
NDフィルター	ND1

① 露出モード切替
露出モードの切替を設定する。プログラム AE / 絞り優先 AE / シャッター優先 AE / マニュアル露出から選ぶ
② 測光モード
測光モードを設定する。分割／中央重点／スポット／ハイライト重点から選ぶ

③ ISO 感度設定
ISO 感度を設定する
ISO 感度設定:
AUTO, 100 ~ 102400 から選ぶ
ISO 感度オート上限値:
125 ~ 102400 から選ぶ
ISO 感度オート下限値:
100 ~ 80000 から選ぶ
低速限界値:
1 秒 ~ 1/1000 秒から選ぶ
④ フラッシュモード
フラッシュモードを設定する
フラッシュモード: 強制発光 / 赤目軽減強制発光 / スローシンクロ / 赤目軽減スローシンクロ
フラッシュ光量補正: -2.0 ~ +1.0 から選ぶ